

資料3 その他航空事故調査委員会が関与した航空事故調査情報

「日本航空株式会社所属ボーイング式747-300型JA8177に係る機内病死の報告について」

我が国の航空事故調査委員会は、メキシコ領域内の事故のため、参考事故として下記のとおり調査した。

平成10年3月5日
航空事故調査委員会議決

発生日時	平成10年2月13日 08時45分日本標準時ごろ (1998年2月12日 23時45分協定世界時ごろ)		
発生場所	メキシコ・シティ国際空港の北北西330km付近上空(メキシコ合衆国領空) 高度 29,000ft		
航空機の 所属等	所属	型式及び登録記号	便名及び発着空港
	日本航空(株)	ボーイング式 747-300型 JA8177	JAL12便 バンクーバー国際空港→ メキシコ・シティ国際空港
死亡者	男性(42才)	死亡の原因	心筋梗塞
事故の概要	04時39分、バンクーバー国際空港を離陸し高度29,000ftで飛行中、08時45分ごろ、機内の化粧室で乗客1名が倒れているのが発見された。 09時10分にメキシコ・シティ国際空港に着陸後、空港の医師が診察した結果、当該乗客は既に死亡しており、死亡推定時刻は08時45分ごろであったことが確認された。なお、死亡推定場所は上記発生場所付近である。		